



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月14日

上場会社名 株式会社ゼットン

上場取引所 名

コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲本健一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 森充 TEL 03-5773-4317

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	8,189	3.9	0	△99.9	109	△73.7	2	△99.0
27年2月期第3四半期	7,885	16.5	361	△14.6	416	△7.1	229	△4.2

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 △43百万円 (-%) 27年2月期第3四半期 218百万円 (△8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	0.54	-
27年2月期第3四半期	53.20	-

(注) 平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	4,338	1,111	25.6	258.12
27年2月期	3,702	1,194	32.2	277.17

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 1,111百万円 27年2月期 1,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	-	0.00	-	9.00	9.00
28年2月期	-	0.00	-		
28年2月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	4.0	△90	-	25	△91.8	△245	-	△56.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期3Q	4,307,900株	27年2月期	4,307,900株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	82株	27年2月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期3Q	4,307,841株	27年2月期3Q	4,307,891株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたってのご注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年3月1日～平成27年11月30日)の連結業績は、売上高8,189百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益0.2百万円(同99.9%減)、経常利益109百万円(同73.7%減)、四半期純利益2百万円(同99.0%減)と増収減益となりました。

当期間において当社グループは、アロハテーブル事業において9店舗、ダイニング事業において2店舗、ビアガーデン事業において2店舗出店し、合計13店舗の新規出店を行いました。これにより当第3四半期連結累計期間末現在の店舗数は、直営店83店舗(国内80店舗(ビアガーデン21店舗含む)、海外3店舗)、FC店6店舗の合計89店舗となっております。

売上高については、既存店舗、特にビアガーデン事業及びアロハテーブル事業において、夏季における台風等の悪天候により、雨天による閉店日数が当社想定を大幅に上回ったことを主要因とする収益の低下、また、ブライダル事業においても、東海地区を中心としたブライダルマーケットへの施設増加により、婚礼の取扱組数が減少し、収益が低下いたしました。これらによる影響から既存店売上高が92.9%となりましたが、新規店舗の出店による店舗数の増加を要因に増収となりました。

営業利益については、ビアガーデン及び屋外店舗における夏季の天候不順の影響による減収、ブライダル事業の減収並びに新規店舗の出店費用を要因に大幅な減益となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、当社グループの事業は単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ635百万円増加の4,338百万円となりました。これは主に、有形固定資産が合計403百万円、現金及び預金が219百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ717百万円増加の3,226百万円となりました。これは主に、長期借入金366百万円、買掛金が138百万円、未払金が133百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ82百万円減少の1,111百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が45百万円、利益剰余金が36百万円とそれぞれ減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月9日に発表いたしました予想から変更はありません

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679,860	899,611
売掛金	132,862	167,240
商品	1,966	1,809
原材料及び貯蔵品	84,910	88,306
未収消費税等	—	116
未収還付法人税等	25,106	13,969
前払費用	80,395	71,674
繰延税金資産	30,017	33,547
その他	62,947	45,093
貸倒引当金	△107	△932
流動資産合計	1,097,960	1,320,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,533,405	1,897,893
工具、器具及び備品(純額)	283,654	313,371
リース資産(純額)	213,814	252,476
建設仮勘定	44,067	14,845
その他(純額)	397	124
有形固定資産合計	2,075,338	2,478,712
無形固定資産	29,403	24,852
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	1,000	1,000
長期前払費用	22,600	24,811
差入保証金	375,998	396,287
繰延税金資産	100,344	92,117
その他	157	—
投資その他の資産合計	500,099	514,215
固定資産合計	2,604,842	3,017,781
資産合計	3,702,802	4,338,218

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,156	496,357
1年内返済予定の長期借入金	421,626	391,353
リース債務	64,310	79,767
未払金	164,754	298,165
未払費用	215,671	241,953
未払法人税等	12,097	46,345
未払消費税等	66,803	55,517
前受金	106,215	135,193
その他	31,286	18,502
流動負債合計	1,440,922	1,763,155
固定負債		
長期借入金	771,013	1,137,330
リース債務	173,835	200,887
資産除去債務	82,714	95,276
繰延税金負債	32,953	22,283
その他	7,333	7,333
固定負債合計	1,067,850	1,463,110
負債合計	2,508,773	3,226,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	379,605	379,605
資本剰余金	301,808	301,808
利益剰余金	468,496	432,039
自己株式	△31	△72
株主資本合計	1,149,878	1,113,381
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,151	△1,428
その他の包括利益累計額合計	44,151	△1,428
純資産合計	1,194,029	1,111,952
負債純資産合計	3,702,802	4,338,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	7,885,042	8,189,461
売上原価	2,428,259	2,476,030
売上総利益	5,456,782	5,713,431
販売費及び一般管理費	5,095,209	5,713,204
営業利益	361,573	226
営業外収益		
受取利息	293	264
協賛金収入	57,355	85,953
貸倒引当金戻入額	131	—
為替差益	18,686	30,647
その他	1,290	9,494
営業外収益合計	77,756	126,360
営業外費用		
支払利息	14,795	13,854
たな卸資産廃棄損	4,842	—
その他	3,063	3,094
営業外費用合計	22,701	16,948
経常利益	416,628	109,638
特別利益		
固定資産売却益	583	296
特別利益合計	583	296
特別損失		
固定資産除却損	5,100	3,143
減損損失	7,861	17,279
店舗閉鎖損失	—	21,830
本社移転費用	—	14,010
特別損失合計	12,962	56,263
税金等調整前四半期純利益	404,249	53,670
法人税、住民税及び事業税	152,579	57,329
法人税等調整額	22,477	△5,973
法人税等合計	175,056	51,356
少数株主損益調整前四半期純利益	229,193	2,314
四半期純利益	229,193	2,314

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	229,193	2,314
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,530	△45,579
その他の包括利益合計	△10,530	△45,579
四半期包括利益	218,663	△43,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218,663	△43,265
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共施設 開発事業	商業店舗 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,778,653	5,106,388	7,885,042	—	7,885,042
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,778,653	5,106,388	7,885,042	—	7,885,042
セグメント利益又は損失(△)	427,276	417,886	845,162	△483,588	361,573

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△483,588千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において「商業店舗開発事業」セグメントでは、閉店が予定されている店舗について、7,861千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「公共施設開発事業」、「商業店舗開発事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結累計期間より「飲食事業」の単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、「店づくりは街づくり」という基本理念のもと、飲食を通して街の活性化、新しい文化の醸成に貢献するべく事業を展開してまいりましたが、事業拡大に伴い、当社グループの経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、「飲食事業」として当社グループの事業を一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。